

黄檗の華

おうぼく

隠元禅師
350年
大遠諱記念展

令和4年

5/21 **土**

7/3 **日**

▲栗東市指定文化財「隠元隆琦像 自賛喜多長兵衛筆 江戸時代前期、萬年寺」

- 開館時間：9時30分から17時まで
(ご入館は16時30分まで)
- 入館料：無料
- 休館日：毎週月曜日(会期中)
- 主催：栗東市、栗東市教育委員会
- 協力：黄檗山萬福寺、公益財団法人日本習字教育財団 観峰館



▲萬年寺山門(栗東市小野)



栗東歴史民俗博物館

栗東歴史民俗博物館

滋賀県栗東市小野223-8

<http://www.city.ritto.lg.jp/hakubutsukan/>

TEL 077-554-2733 FAX 077-554-2755



新型コロナウイルス感染症対策の一環として、事業を延期または中止する場合がございます。事業開催に関する状況は、事前に栗東歴史民俗博物館までお問い合わせ下さい。



隠元禪師350年大遠諱記念展「黄檗の華」

臨済宗・曹洞宗とともに、日本の三禅宗の1つに数えられる黄檗宗は、江戸時代前期、中国から渡ってきた隠元隆琦(1592～1673)が、京都宇治に黄檗山萬福寺を建立したことを濫觴とする新しい宗派です。黄檗宗の開創は、当時の最新の中国文化をもたらすものでもあり、江戸時代の人びとに大きな“インパクト”を与えることとなりました。

そのような黄檗宗の文化は、天台宗をはじめとして、古くから仏教文化が栄えた歴史的風土を持つ近江にももたらされることとなります。江戸時代前期の近江には、戦国時代に荒廃した寺院が多く、黄檗僧たちは、これらの寺院の堂宇や寺地を譲り受け、黄檗寺院として再興することで、黄檗宗を広めていきました。

現在、栗東市内には、万年寺(小野)と円光寺(北中小路)という2つの黄檗寺院がありますが、いずれもこのような流れの中で開かれています。

この展覧会では、隠元禪師350年大遠諱にあたり、万年寺に伝わる文化財をはじめとして、栗東周辺に花開いた黄檗文化を紹介します。



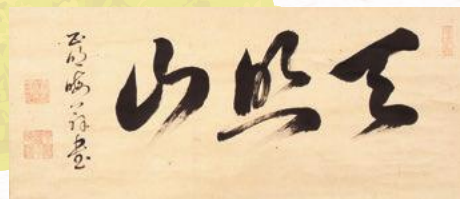
▲円光寺本堂(栗東市北中小路)



▲【栗東市指定文化財】慧極道明像
自賛(部分) 貞享4年(1687) 賛、万年寺



▲萬福寺末寺之証 貞享元年(1684)、万年寺



▲大日寺山号「天照山」(晦翁墨蹟)
江戸時代、浄光寺

関連企画

展示解説会

- 日 時 : 5 / 21 土、6 / 11 日 土、7 / 2 土 いずれも14時から(1時間程度)

歴史文化財講座「地方に花咲く黄檗の華」

- 日 時 : 5 / 29 日 14時から(2時間程度)
- 登壇者 : 澤田 瞳子さん(小説家、第165回直木三十五賞受賞作家)
佐々木 進さん(栗東歴史民俗博物館 元館長)
- 参加申込 : 5 / 9 日 9時30分より、電話(077-554-2733)にて受け付けます。
(以後、5 / 14 土、15 日、23 日を除く
9時30分から17時まで受け付けます。)
- 定 員 : 50名
- 参加費 : 無料



澤田 瞳子(さわだ・とうこ) 1977年 京都府生まれ。同志社大学文学部卒業、同大学院博士課程前期課程修了。

2010年『孤鷹の天』でデビューし、同作で中山義秀文学賞受賞。

2012年『満つる月の如し 仏師・定朝』で本屋が選ぶ時代小説大賞受賞。

2013年『満つる月の如し 仏師・定朝』で新田次郎賞受賞。

2016年『若冲』で歴史時代作家クラブ賞作品賞、親鸞賞受賞。

2020年『駆け入りの寺』で舟橋聖一文学賞受賞。

2021年『星落ちて、なお』で直木賞受賞。